

はつらつ体験塾 通信



令和7年度 第1回チャレンジキャンプ号 令和7年7月吉日

新潟県少年自然の家

たくさんのチャレンジで感じる達成感と充実感

7月12日(土)・13日(日)に、新潟県少年自然の家を会場にして、第1回はつらつ体験塾チャレンジキャンプを開催しました。小・中学生18人、学生ボランティア2人が参加したキャンプと同日開催をした保護者ワークショップの様子をお知らせします。

7月12日(土)

13:00 13:30 13:40 14:10 14:30 17:30 18:30 19:30 21:00 21:30

受付	出合いの つどい	レクリエー ション	オリエ ンテー ション	テント設営 焚火体験準備	夕食 休めい	焚火 体験	お風呂 自由時間	就寝
----	-------------	--------------	-------------------	-----------------	-----------	----------	-------------	----

〇自分たちの力でやるぞ！～テント設営・テント泊にチャレンジ～

ドームテントを一緒に泊まる仲間と設営します。暑い日差しが降りそそぐ中、説明書とにらめっこをしたり、どうすれば立てられるかを話し合ったりする姿がたくさん見られました。いつもは手伝ったりアドバイスをしたりするスタッフと学生ボランティアはぐっと我慢をして見守りに徹します。時間はかかりましたが、無事にテントを設営することができました。18:30からの焚火の準備もしました。日が暮れると気温は下がり翌朝は寒いくらいでした。普段と違う環境で「寝られなかった」という参加者も多くいましたがテント泊でのチャレンジに見事成功し、達成感を感じることができました。



〇初めて友達と焚火をします！～スモアづくりにチャレンジ～

スモアというお菓子を知っていますか？焚火でマシュマロを焼いてビスケットやクッキーではさんだ甘いスイーツです。焚火初チャレンジという参加者から、焼きマシュマロは食べたことがあるけど、スモアは初チャレンジという初めて尽くしのスタートでした。好きな材料を持って行ってそれぞれが思い思いにスモアを作って食べました。自分で作ったスイーツは最高！スモアだけでなく焚火の火を眺めながら、落ち着いた夜を迎えることができました。



○保護者ワークショップ～はつらつ体験塾卒業生に話を聞く～

「保護者にも元気になってもらいたい」
 今回ははつらつ体験塾卒業生の大学生をお招きして当時感じていたことや今になって思うことをプレゼンしていただきました。将来のことを心配している方が多く見受けられましたが、回り道もムダではないこと、保護者が元気であることが当事者にとっても嬉しいことであるという話を聞いて元気になった、安心したという感想をもっていただきました。また、「子どもにこんな風になってもらいたい、こんな力を身に付けてもらいたい」という思いをお菓子を食べながらお茶を飲みながら書き出して全員でシェアしました。様々な思いをシェアする中で新たな考えや視点に気づくことができた方も多く、話をするだけでなく形にすることで、はつらつ体験塾の一つの財産となっていくことを感じました。ご参加の皆さんありがとうございました。次回は1月に開催いたします。



7月13日 (日)

6:00 6:30 6:45 7:30 9:00 11:30 13:00 13:15 13:30

起床	朝のつどい	テント片付け	朝食	野外炊さん	昼食・片付け	振り返り	別れのつどい
----	-------	--------	----	-------	--------	------	--------

○自分たちの力でお昼ご飯を作るぞ！～カレーライスづくりにチャレンジ～

最後の活動はカレーライスづくりです。かま場班と調理班に分かれて自分たちの力で作ります。初めて包丁をもって料理をする参加者、火に気を付けながら初めて熱い鍋をもつ参加者もあり、こちらでも初めてのチャレンジが盛りだくさんです。暑い中でしたが、水分をとったり、時折館内で休憩をとったりしながらおいしいカレーライスを作ることができました。



今回ののはつらつ体験塾では、参加者がたくさんのチャレンジにあきらめずに立ち向かい、クリアすることで達成感を感じる姿がたくさん見られました。関係の皆様にご理解ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

はつらつ体験塾担当：保坂吉彦・須田洋介